

平成28年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	小水力等再生可能エネルギー導入推進事業			担当部局庁	復興庁			作成責任者	
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	総括官付参事官(予算・会計担当)			参事官 後藤 浩平	
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	食料・農業・農村基本計画(平成27年3月31日閣議決定) 土地改良長期計画(平成24年3月30日閣議決定)				
主要政策・施策	-			主要経費	食料安定供給関係				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災を契機として、自立・分散型のエネルギー供給システムの実現を図ることが喫緊の課題となっている。また、施設の老朽化が進む中、農業水利施設の適切な維持管理の確保が必要である。このため、被災地域の農村地域において、農業水利施設を活用した再生可能エネルギーの導入を促進し、自立・分散型エネルギー供給システムの構築及び農村の活性化により、被災地域の復興を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災3県において、農業水利施設を活用した小水力等発電施設の整備を推進するため、小水力等発電の導入可能性の検討、調査設計、各種法令に基づく協議及び施設整備の取組を支援する。(補助率:定額、1/2)								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	150	80	60	-	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	2	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	152	80	60	0	0		
	執行額	94	69.5	46	-				
執行率(%)	62%	87%	77%	-					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 -年度	目標最終年度 28年度
	平成28年度に小水力発電等の再生可能エネルギー導入に向けた計画作成を約1,000地区で着手	計画作成地区数	成果実績	地域	851	1,026	1,126	-	-
			目標値	地域	400	600	800	-	1,000
			達成度	%	213	171	141	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	①被災地域における再生等可能エネルギーの導入に向けた計画作成に着手済みの地域数	活動実績	件	3	3	2	-		
		当初見込み	件	3	3	2	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	②再生可能エネルギー発電施設の整備数	活動実績	件	1	1	0	-		
		当初見込み	件	1	1	1	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	① 執行額(百万円)/被災地域における再生可能エネルギー導入可能性調査を実施した県数	単位当たり コスト	千円	31	9	15	-		
		計算式	千円/件	92/3	27/3	46/3	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	② 執行額(百万円)/再生可能エネルギー発電施設の整備数	単位当たり コスト	千円	1,831	42,068	0	-		
		計算式	千円/件	1,831/1	42,068/1	0	-		

平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由
	農山漁村6次産業化対策事業費補助金	-	-	
	計	0	0	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	3. 農村の振興							
	施策	⑮多様な地域資源の積極的活用による雇用と所得の創出							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度
		実績値	地域	851	1,026	1,126	-		
	目標値	地域	400	600	800	-	1,000		
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	農業水利施設を活用した小水力等発電の導入に係る調査設計等の取組を支援する。 この支援措置により、再生可能エネルギーの活用と農業水利施設の維持管理費軽減に向けた取組の促進を図り、農村に由来した資源を活用した新産業の創出に寄与する。								
	改革項目	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									

事業所管部局による点検・改善		
項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	食料・農業・農村基本計画(平成27年3月31日閣議決定)における「農村における再生可能エネルギーの生産・利用の推進」を担うものであり、都道府県の要望など国民のニーズが的確に反映されている。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の施策を促進する事業であり、国費を投入すべきものである。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	土地改良長期計画(平成24年3月31日閣議決定)に位置づけられ、定量的な目的が設定されており、国として実施すべき優先度の高い事業である。
競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	-
競争性のない随意契約となったものはないか。	無	

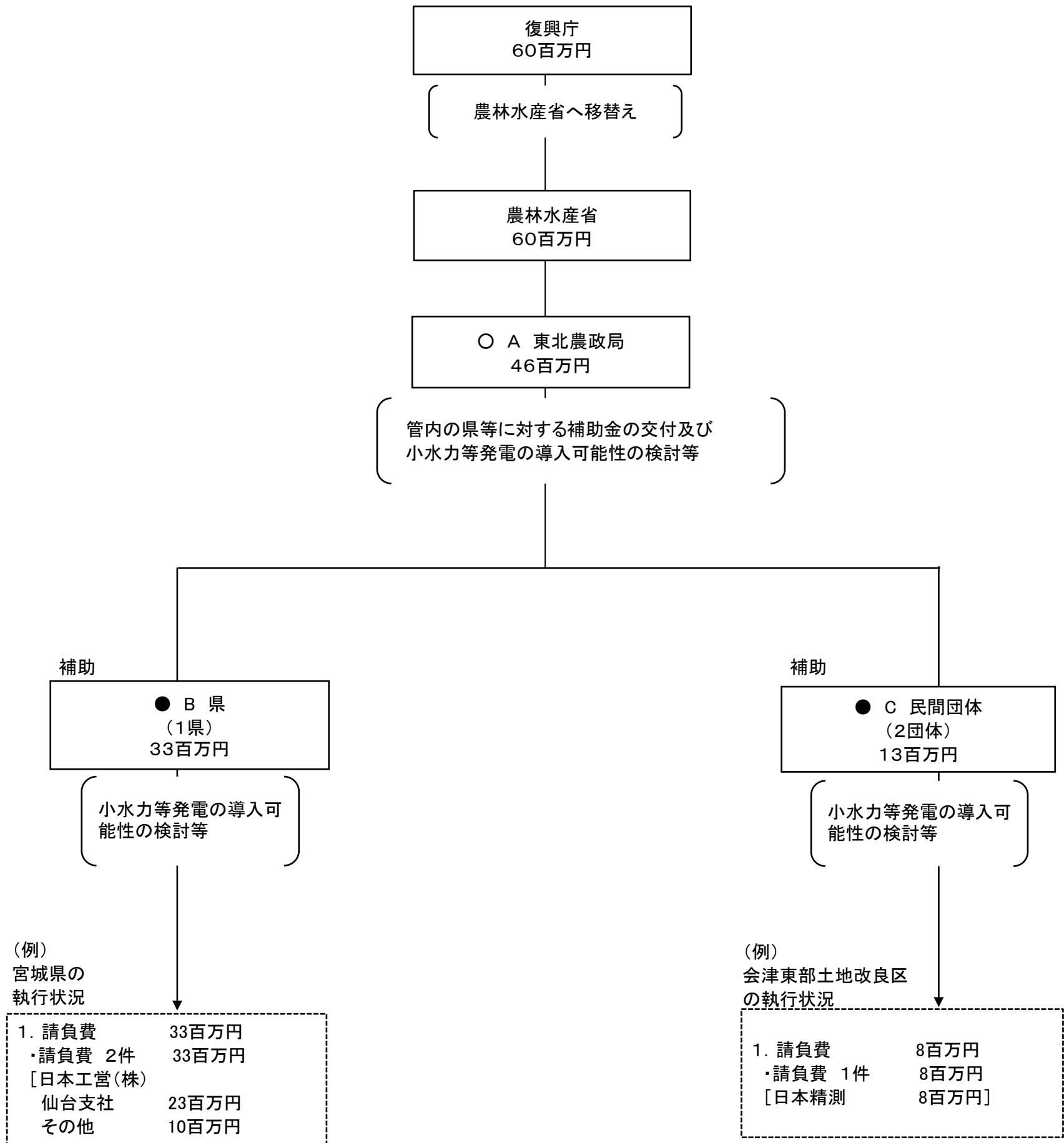
事業の効率性	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	発電施設導入の可能性が確定するまでは定額とし、それ以降は事業実施主体が応分の負担を行っていることから、妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	発電形式や調査内容等により1件あたり事業費が異なるが、実施要領で定める上限額を下回っていること、各年度の単価が低減していることから、妥当な水準である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	直接交付を可能としていること、中間段階での支出がないことから合理的である。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した費用に限定されており、妥当である。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		△	入札の結果、契約価格が予定価格を大幅に下回る契約があったことによる。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	設計段階で建設費単価の目安を示し、要件化することで効率化を図っている。
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果目標は概ね達成しており、妥当である。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	小水力発電施設の導入にあたっては、施設設置の適地・経済性の検討から概略・基本設計のプロセスが必要であり、本事業を活用して各地において導入検討が行われている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は概ね見込みを達成している。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物は小水力等発電施設の導入に活用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	<p>・本事業は、農業水利施設の維持管理費の軽減を図ることを目的として、小水力発電等の施設を導入するための調査設計等への支援を行っている。</p> <p>・農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業は、地域主導で農山漁村の資源を活用した再生可能エネルギーを供給する取組を推進し、地域の農林漁業の発展を促進することを目的として、農産物の加工施設に設置する太陽光発電施設等の構想作成等の支援を行っている。</p> <p>・これらの事業内容及び事業目的は異なり、重複はなく、適切な役割分担となっている。</p>
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
	農林水産省 食料産業局		農山漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業	
点検・改善結果	点検結果	<p>【国費投入の必要性】</p> <p>・小水力等再生可能エネルギーの導入推進については、食料・農業・農村基本計画(平成27年3月31日閣議決定)における「農村における再生可能エネルギーの生産・利用の推進」を担うこと、また、土地改良長期計画(平成24年3月30日閣議決定)の重点目標に位置づけられていること、さらにはエネルギー基本計画(平成26年4月11日閣議決定)においても再生可能エネルギーの導入推進が必要とされるなど、国民のニーズに合致した優先度の高い事業であり、国費を投入して実施する必要がある。</p> <p>【事業の効率性】</p> <p>・本事業の契約については、競争性が確保されている。また、事業実施主体が応分の負担を行っているとともに、用途も真に必要なものに限定されており、効率的に事業が実施されている。</p> <p>・導入可能性から施設の設計までの各段階で、目安となるコスト等の条件を設定し、効率的な小水力等発電施設の導入に努めている。</p> <p>【事業の有効性】</p> <p>・本事業により、被災地域で導入可能性の検討や調査設計が実施され、その成果をもとに小水力等発電施設の整備が進んでいることから、着実に活動実績が上がっている。</p>		
	改善の方向性	集中復興期間(~H27)が満了したことに伴い、予定通り復興特別会計での計上は終了したが、自立・分散型のエネルギー供給型のエネルギー供給システムの構築は国土強靱化等の目的からも重要であり、引き続き一般会計において同取組を推進していく。		
外部有識者の所見				
点検対象外				
行政事業レビュー推進チームの所見				
終了予定	事業の目的である被災地域における農業水利施設を活用した再生可能エネルギーの導入促進を平成27年度中に達成しており、平成28年度以降は予算を計上していない。得られた知見・成果は他の事業にも活用していくこと。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
予定通り終了	事業の目的である被災地域における農業水利施設を活用した再生可能エネルギーの導入促進を平成27年度中に達成しており、平成28年度以降は予算を計上していない。なお、国土強靱化等の目的により事業を継続する場合には、一般会計で対応する。			
備考				

関連する過去のレビューシートの実業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	72
平成25年度	103	平成26年度	123	平成27年度	123

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※ 委託費等は100万円以上を対象としている。
※ 小数点以下四捨五入のため、合計と一致しない場合がある。

●印は、事業実施主体となるもの。
○印は、補助金交付業務となるもの。

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.東北農政局			B.宮城県		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金交付	3団体に補助金交付	46	請負費	小水力等発電の導入可能性の検討	33
	計		46	計		33
	C.会津東部土地改良区			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	請負費	小水力等発電の導入可能性の検討等	8			
	計		8	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北農政局	5000012080001	県等への補助金等補助事務及び小水力等発電の導入可能性の検討等	46	-	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	宮城県	8000020040002	小水力等発電の導入可能性の検討等	33	-	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	会津東部土地改良区	8700150037813	小水力等発電の導入可能性の検討等	8	-	-	-	
2	戸ノ口堰土地改良区	4700150037916	小水力等発電の導入可能性の検討等	5	-	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	